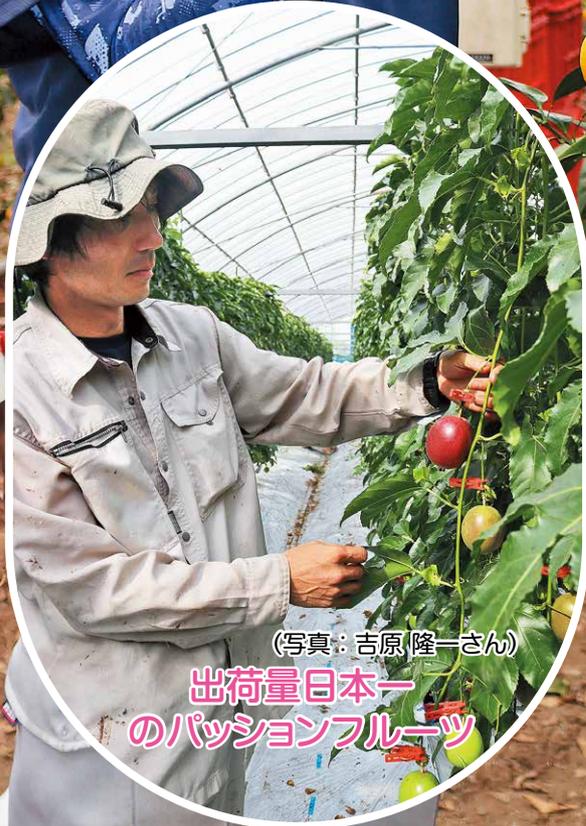


収穫たけなわのハウスミカン
(写真・中水流 健二さん 撮影日・7月7日)

議 会 だ よ り

おおさき



(写真：吉原 隆一さん)

出荷量日本一
のパッションフルーツ

6月定例会

こんなこと決めました

- 令和4年度補正予算 …… 2
- 町政を問う(一般質問) …… 5
- 6月議会定例会審議結果 … 4
- インタビュー(ピックアップおおさき) …… 13
- 町民の広場・編集後記 …… 14

令和4年度一般会計補正予算

2億727万4千円 増額

総額

102億7千352万5千円

一般会計補正予算(第1号)

主な補正予算

360万円

企画調整課

地域おこし研究員等
業務委託料

問 これは半数を占めるベトナムの外国人技能実習生へのサポートが目的との説明があったが、他の外国の技能実習生へのサポートも必要ではないか

答 受入監理団体の対応によりトラブルは少ないようであるが、今後検討していきたい。

4,500万円

企画調整課

企業価値向上補助金

問 補助金申請の審査方法は

答 企業価値向上のための設備

導入等の計画書を作っていただき、内容の審査を行う。申請しやすいように、計画書作成の支援等を行っていく。

1,700万円

企画調整課

くこの松原キャンプ場
バンガロー建設工事

問 バンガローの宿泊者を町内飲食店等での消費へつなげるような施策が必要ではないか

答 アンケート調査での現状把握や利用促進につながるよう



くこの松原バンガロー 2号棟

な方法を他の事例も参考に検討していく。

725万円

保健福祉課

子育て世帯生活支援特別
給付金

問 住民税非課税世帯以外で、家計急変の方も対象との説明であったが、その要件は何か

答 令和4年1月以降の任意の月の収入を、12倍して算出した年間収入見込み額から所得を計算し、住民税非課税世帯相当であれば支給対象となる。

問 周知の方法はどのようなのか

答 町の広報誌、ホームページ、LINEなどを使って、広く周知を行い、申請に行きにくい方々への配慮も検討していきたい。



林地崩壊現場

889万円

農林振興課

林地崩壊防止工事

問 工法を変更するとの説明であったが、理由は何か

答 県の指導により、当初予定していたモルタル吹付から、強度の強い吹付法砕工への変更である。

394万円

農林振興課

農地耕作条件改善事業補助金

問 さつまいも基腐病対策として反転耕への補助金との説明であったが、どのような資機材で行うものか

答 バックホウ掘削により、被害表土を下層の無菌の土と入れ替える方法となる。

条例関係

議案第21号

大崎町過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この条例は、租税特別措置法の改正に伴い固定資産税を、一定期間課税免除するためのものです。

議案第22号

大崎町半島振興対策実施地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この条例は、租税特別措置法の改正に伴い、条例の一部改正を行うものです。

議案第23号

大崎町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この条例は、地域未来投資促進法に基づき鹿児島県基本計画が変更されたことに伴い、条例の一部改正を行うものです。

令和3年度大崎町一般会計繰越明許費

事業名	金額
社会保障・税番号制度システム改修事業	29万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	7,365万円
子育て世帯等臨時特別給付金事業	40万円
農地耕作条件改善事業	1,477万円
松くい虫対策事業	162万円
農林水産業施設災害復旧費	1億4,346万円
公共土木施設災害復旧事業	3億3,090万円

繰越明許費(報告)

繰越明許費とは年度内に支出が終わらないと見込まれるものを、議会の議決を経て翌年度に繰越して経費の支出ができる制度です。

6 月定例会議案等に対する採決状況一覧

(○賛成 ●反対 議長(神崎文男)は採決に加わらない。)

議案等の番号	件名	賛否の意思表示											議決結果
		平田慎一	富重幸博	稲留光晴	諸木悦朗	宮本昭一	中倉広文	中山美幸	吉原信雄	上原正一	小野光夫	児玉孝徳	
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度大崎町一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(大崎町町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(大崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第19号	令和4年度大崎町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第20号	令和4年度大崎町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第21号	大崎町過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第22号	大崎町半島振興対策実施地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第23号	大崎町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第24号	小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結について	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	-	可決
陳情第1号	「インボイス制度実施中止を求める意見書」の採択を求める陳情 ※賛成討論・反対討論	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	-	不採択

※【本会議場での質疑】議案第24号 小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結について
中山美幸議員

問 契約内容について、なぜ4WD、MT車ではないのか。消防車がぬかるんだ道、砂地等に侵入した場合、脱出が困難になり消火活動に支障をきたすのではないのか。

答 消防車の購入に際して地元分団と十分協議を行い入札している。4WDにすると普通運転免許では運転できなくなるため、普通免許でも運転できる2WDの消防車を選定している。総合的に判断して2WDを購入することとなった。

※【陳情 第1号】

「インボイス制度実施中止を求める意見書」の採択を求める陳情

賛成討論 稲留光晴議員

制度実施中止を求める意見書というのは、全国的に多くの事業者、税理士、また国、県、町の商工会議所が意見書を出している状況であり賛成である。

反対討論 中倉広文議員

国会において法制化された法律に対して、本町事業者などの程度影響があるのか、十分確認されないまま本町議会として、政府及び国会に意見書を送付することについて、現段階では具体性を欠き、賛同しかねるため採択することには反対する。

一般質問

4議員が登場

町政を問う

宮本昭一 議員

P 6

- ・畜産振興対策について
- ・くにの松原の観光対策について
- ・教育行政について



平田慎一 議員

P 7

- ・教育行政について
- ・防災・減災対策について



稲留光晴 議員

P 8

- ・本町基幹産業の持続可能策について
- ・子育てしたい町にするために
- ・国保税均等割について



児玉孝徳 議員

P 9

- ・新型コロナウイルス感染症対策について



**二次元コード*をスマホ等で読み込むと
各議員の一般質問を視聴できます。**

※バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111 (内線 310・311)

畜産農家の後継者育成を図れ

営農資金計画の相談等を推進



宮本 昭一 議員

問 後継者育成対策は、現在どのようなことをしているか。又、農業高校生との魅力ある農業の交流を図ることも必要と思いがどうか

者に対して、就農一時金として20万円を支給しており、無利子の畜産振興資金もある。

国の事業では、就農準備資金として年間150万円を支給しており、無利子で長期貸付の制度資金などもある。なお、大崎町の営農事情を紹介するため、大崎町や志布志市出身の農業高校生と交流会を行っていたが、現在コロナの影響で中止している。

畑かんセンターと協力し推進する

答 町長 後継者育成対策については、県の畑かんセンター等と協力し、営農にかかわる資金計画の相談や補助事業などを紹介し推進している。町では、概ね45歳以下の新規就農

新規就農者の確保は

問 畜産クラスター事業は施設整備事業と機械導入事業があるが、新しく畜産を始めるには、多額の資金が必要となる。行政がこの事業をフルに活用して新規就農者の

確保を図る必要があると思うがどうか



新規就農者の確保

制度を活用していただきたい

答 町長 新しく畜産を始めるには、多くの初期投資を行わなければならぬので、制度の要件を満たし活用できる制度については利用していただきたい。

補助金引き上げ見直しは

問 4月から創設された高齢産歴牛更新事業は生産素牛を若返らせ、繁殖雌牛の繁殖効率を上げ、本町の畜産振興に大いにつながると思われる。しかしながら、現在1頭当たり2万円という補助金であり、少ないと思うが引き上げ見直しはできないか

財政状況を考慮して検討

答 町長 生産基盤の安定化を図る目的で創設した事業であるので、引き上げ見直しについては財政状況を考慮して検討する。

拡充整備はできないか

問 益丸海岸には、休日にも多くの方が訪れているが、松林と砂浜の境界部分の道路の状態が悪く駐車場に利用されている部

分もあるので、拡充整備はできないか

国等と調整しながら対応

答 町長 道路の整備及び駐車場の拡充についての必要性は承知している。国定公園ということでも各種規制があるので、国・県等と調整しながら適切に対応を取りたい。

就任の抱負は

問 本年4月に教育長として就任されたところで、抱負をお聞かせください

誠心誠意、努めていく

答 教育長 教育はまさに人づくりである。これまでの教職、教育行政等の経験を活かし、本町教育行政の充実・発展のため誠心誠意努めて参りたい。

教育行政の目指す方向性を示せ

人間性豊かで、たくましく生きる、輝く人づくり



平田 慎一 議員

問 教育は、福祉・医療・まちづくり等と深く関わり、各分野を融合させ現場が生き活きとした教育活動ができる条件整備が重要であることから、教育行政の方向性と新教育長の選任理由を示せ

町出身者で、人や地域のことを十分理解している。

答 **教育長** 自立力と社会力を育成し『学びと情報』『幼保小中』『学校と家庭と地域』3つのつなぐに取り組み成果は継続し課題は工夫を加え、学力向上は授業の改善・演習問題の計画的な実施、ICTの有効活用を行う。

消防団員の減少対策及び中央分団の移設整備は

問 全国の消防団員が過去最少の中で、現状認識と対策、中央分団の建て替え、移設の必要があるのではないか

答 **町長** 穂園教育長は、教育分野のみならず幅広い行政分野を知り、調整する能力を持ち合わせ本

大崎町各分団、団員数・火災出動回数

分団名	中央	大丸	菱田	中沖	持留	野方	特設
令和2年 出動数	11	5	1	2	2	3	3
令和3年 出動数	9	0	1	1	4	4	7
令和3年 団員数	40人	25人	35人	27人	18人	41人	33人

曾於地区消防組合（管内・大崎分署）出動回数の推移

	管内(志布志・大崎)火災	大崎分署火災	管内救急	大崎分署救急
令和2年	62件	15件	4,083件	717件
令和3年	53件	8件	3,927件	657件

総合的に検討していく

答 **町長** 団員の条例定数の240名に対して222名で、確保対策として出動報酬の見直しを行い、中央分団は災害対策本部の機能を有する役場本庁舎の在り方と併せ総合的に検討する。

コロナ禍の消防隊員の待遇改善が必要では

問 大崎分署の出動件数に対して適切な人員が組合の出動件数も検証すべし、コロナ患者搬送後自宅に帰っても屋外でキャンプ用のテントで寝ている現状があり待遇改善に努めるべきではないか

事実確認し協議する

答 **町長** 構成団体の曾於市、志布志市と情報共有し、消防職員の適正な労働環境の在り方について協議していく。

地震・津波の対応・対策はどうなっているか

問 政府の地震調査会が南海トラフに隣接する日向灘や南西諸島でマグニチュード8の巨大地震3タイプが起き得るとする長期評価を公表したが、

本町の対策状況を示せ

防災訓練を行っている

答 **町長** 津波、避難訓練を実施し、避難経路、場所の再確認や要支援者の避難対策の検証確認を行い、防災意識の高揚と知識の向上を図っている。



昭和54年12月 建

42年経過した中央分団詰め所

その他の質問
・総合防災マップについて
・学校統合『学区見直』について

水田活用直接支払交付金に対する見解は

基幹産業に大きな影響



稲留 光晴 議員

減収額はどうか

問 令和9年度からの減収額はどのくらい見込めるか

答 試算した場合、次のとおりである

問 水張りが行われない水田に対する交付金カットについて町長の見解を求める

答 町長 過去5年間の水田作付状況で見た場合、次の表のとおり影響が推測される。

大きな影響を受ける

答 町長 交付金の大幅な減少で交付対象外の農地の資産価値下落など基幹産業を農業とする本町は大きな影響を受ける。

推測される減収額等

対象人数	447名
対象面積	約157ha
対象筆数	約2,500筆
減収額	約5,700万円

子牛価格の下落対策で補助金は出せないか

問 子牛のセリ価格の下落で離農する声を聞くが本町で補助金は出せないか

答 町長 国・県等と協議中である

策 はJAを含め、国・県等と対応について検討している。

子育てしやすい環境づくりの取り組みは

問 子育てしたい町、子育てしやすい環境づくりの取り組みを示せ

新生児に10万円支給

答 町長 本町独自施策として本年度から赤ちゃんギフト支給事業に代わり1人につき10万円給付金支給、他の施策での基本額の増額や加算金を拡充した。

本町の特殊出生率は

問 特殊出生率と過去10年間の推移を示せ

令和2年は1.88である

答 町長 5年ごとに県が公表しており平成12年が1.7、17年が1.71、22年が1.81、27年が1.88、令和2年が1.88である。

国保税の未就学児均等割半額補助での軽減額は

問 本年度より国保税の未就学児の均等割が半額補助されるが軽減額はいくらか

総額57万円程度減額される

答 町長 令和3年度実績で算定すると総額57万円程度の減額となる。

対象世帯および軽減額試算

未就学児童	56人
軽減対象世帯	25世帯
全体の軽減額	57万円

子ども2人以上の世帯に補助はできないか

問 出生率1.88ということだが、18歳未満の子ども2人以上扶養する世帯に対して均等割額の半額補助はできないか

本町負担が発生するが検討する

答 町長 本年4月1日時点で、18歳未満の扶養世帯は78世帯、186人である。

均等割額を軽減する場合、負担額の影響は166万円程度と推測されるが、近隣市町等を見て検討したい。

空き家をレンタルオフィスに

必要な環境を分析し検討



児玉 孝徳 議員

や新規創業、起業支援の補助金などを検討する。

問 コロナ禍でテレワークなどの新しい働き方が全国で広がっている。

本町の人口増対策として空き家や空き店舗などを再生し、レンタルオフィスに取り組み考えはないか

分析し補助金を検討する

答 町長 利用者はまだこれからの状況で、企業のワーケーション受入れを進め、必要な設備・環境を分析し、空き家リフォーム



空き家を利用したレンタルオフィス

在宅療養者に支援物資を

問 コロナ禍での在宅療養者への訪問とか支援物資の提供ができないか

相談があれば支援する

答 町長 現在は町への相談はないが、本人や保健所等から相談があれば支援を行う。

集団接種を増やせないか

問 夕方とか土・日に、接種率が低い子供も含めた若い世代が受けられるワークチン集団接種を増やせないか

予約状況を見て体制を整える

答 保健福祉課長 3回目の集団接種で枠を多めに取っていたが申込みは少なく、今後の予約状況で集団接種を開設したり、時間の枠を広げたりして、希望者が集団接種でも受けられる体制をとっていく。

感染者対応はどうか

問 学校、いじめも園等での

感染者対応はどうか

適切な対応をとっている

答 町長 感染者が多数生じた場合は、保健所の指示で適切な対応をとっていく。万全の対策を講じ、預かり保育の提供を縮小して実施するなど、居場所の確保に努める。

教育長

感染や濃厚接触者が偏見やいじめ、誹謗中傷などされないよう配慮し、公表等には特に注意を払っている。登校できないとか、いじめられたりする児童・生徒はいない。

施設に抗原検査キットを

問 福祉施設や介護施設などでクラスターが発生したと聞くと、町から抗原検査キットを支給すれば効果があると考えられるか

今後検討する

答 町長 県から昨年9月に1回配布があったが、今後検討していく。

物価高の中で稼げる対策はあるのか

問 コロナ禍で収入が減った、またロシアのウクライナ侵攻による原油高や物価上昇が続く中、地域経済を活性化するための本町独自の対策があるか

「企業価値向上補助金」など稼ぐ力を支援する

答 町長 企業価値向上補助金の創設により、商業者自らの価値を高め、稼ぐ力をつける助成制度やスポーツコミッション設立の新しい観光産業により訪問者を増やす施策、原油価格・物価上昇対策支援金などを実施したいと考えている。

「大崎町におけるリサイクル、ゴミ分別について」

「議会だより」返信用ハガキに寄せられた子育て世代のゴミ分別へのご意見に対する回答を大崎町衛生自治会よりいただきました。(議会一般質問の議員指摘も踏まえた回答になります。)

衛生自治会

大崎町は、20数年前に「ゴミを燃やさない」という決断をして、ゴミの最終処分場の延命化を図るために分別を強化してきました。

そのことが、結果として“SDGs 先進の町”として、環境大臣賞をはじめさまざまな賞を受賞しました。これは全町民が一体となって取り組んでいただいたお陰です。

今では、全国各地から大崎町で学びたいと研修に来られるようになりました。これはまさしく、全国民が目指す最先端の活動なのです。最初は面倒に感じますが、町民の皆さんが「もう慣れた」とおっしゃっていますし、小学校でも中学校でも取り組んでいます。

この大崎システムはインドネシアからも要請があり指導に赴いていますので、まさに世界標準へとなりつつある取り組みなのです。

自分たちの子供や孫が、この地球に住み続けることが可能な環境を守り抜く。大崎町民の多くはこのことに目覚め先進の使命を感じて、みんなで定めたルールを守り日々取り組んでおられます。

私ども大崎町衛生自治会としても、町民と一体となって20数年間分別を継続しております。お陰で昨年は、毎日のゴミの分別に対して「リサイクルありがとう商品券」が町民1人に1万円ずつ配られ「本当にありがたかった」という町民の皆様の意見をたくさんお聞きしております。

その他にも、分別の益金や全国から取り組みを応援したいと寄せられた「ふるさと納税」を活用したリサイクル奨学金、学校給食への補助、中学校入学時の補助、高校生までの医療費無償化や転入転居時の新築住宅補助など、町民に優しい施策を行うことができるようになったと思っています。

私ども衛生自治会としても、“なぜリサイクル、ゴミ分別を行うのか”という考え方を基本に、スタートから現在までの歩みと、世界中のSDGsに対する取り組み、持続可能な生活環境を取り戻すという理念をお伝えし、今後も、ゴミの分別を一緒にやらせていただきたいと考えております。

なにとぞ、ご理解のほどよろしく申し上げます。

大崎町衛生自治会会長 萩原 洋一



環境学習会の様子



資源ゴミ回収(西迫)

町議会に3通の返信用ハガキをいただきました!(要旨抜粋)

- グラウンドゴルフ（ふれあいの里公園）を無料でできるのはありがたいが、使用している方は感謝を込めて100円～200円払うようにしたらどうか。
- グラウンドゴルフの場所に水道がなく、青のりののはった20ℓの水が置いてある。手洗いは可能でも、うがいはできないため水道を設置したらどうか。
- 沿道の草木が生い茂った土地が多い、高齢者の知恵を活かし沿道を花一杯に美しく、住んで通って訪れてみたい町づくりを期待する。
- 議員にお願いしても話は聞いてくださるが、結果報告がないため報告をしてほしい。

貴重なお声をありがとうございます。

皆さまからのご意見は議員へ伝え議会だよりにて紹介させていただきます。（個人的な指摘を除く）また、執行部に対していただいた匿名以外（ハガキに住所、氏名を記入）の意見については、執行部へ回答を依頼いたします。

切り取り線

郵便はがき

8 9 9 7 3 9 0

料金受取人払郵便



差出有効期限
令和5年3月
31日まで
(切手不要)

鹿児島県曾於郡大崎町仮宿 1 0 2 9

大崎町議会 議会事務局 行



※回答を希望される場合は、住所・氏名をご記入ください。

住所

氏名

議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人受付票に住所・氏名などを記入していただくだけです。

なお、本会議は本庁舎3階の本会議場において午前10時から行われますが、一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

次回の定例会は9月です。

気になるあの人に聞いてみました！



(後列)西塔 中垣 立花 齊藤 森川
(前列)遠矢 井上 藤田 大岩根

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会*に勤務している皆さまにお話を聞きました。(7月6日)

一般社団法人 大崎町SDGs推進協議会

専務理事 齊藤 智彦 さん(写真後列左から4人目)
事務局 西塔 大海 さん 中垣 るる さん
鈴木 大高 さん 遠矢 将 さん
藤田 香澄 さん 井上 雄大 さん
立花 実咲 さん
森川 和花 さん

大崎町で協議会を開設したきっかけとは

一番大きいのは、2018年のSDGsアワード内閣官房長官賞を受賞したことで、多くの企業が大崎町に興味を持つようになったことです。

私自身も、4年前に大崎町に来てリサイクルの取り組みに衝撃を受け、大崎町だけでなく世界規模の課題解決につながる取り組みをされていると感じ、関わりたいという思いで大崎町に來させていただきました。

そして、外部の組織や企業と連携していくためには、そこをつなぐコーディネーター役が必要だということで、付き合いのあった企業の方々と一緒に協議会を立ち上げました。

現在の活動は

現在の活動は、分別やリサイクルをどうやったらもっと便利にできるかということを考えて、企業や町外の方々と連携し、リサイクルしやすい商品の研究開発や、研究者の方々に誘致して、さまざまな視点で

大崎町の取組を調査・研究いただいています。また、町のリサイクルに関する情報発信や、視察研修の受け入れをしています。



町の魅力とは

大崎町に移住したいと思った最大の理由は、ごみの分別をトップダウンで決めたのでなく、住民の方々の声、気持ちを考えながら構築してきたことです。しかもそれが20年以上続いていることが本当に素晴らしいと思います。

大崎町の特徴ですごくいいなと思うのは明確に特産品(マングローブ・うなぎ等)があること

がすごく強いと思います。他の地域だと特産品のない場所ってやっぱりあるんです。日本一というのがいっぱいあることが人を引き寄せ始めていると感じていて、その土壌が大崎町にはあると感じます。

必要なこと、不便なことはありますか

自分自身もそうでしたが、新入社員が増えて大崎町に引越して来る時に住む家がないか見つからないのが結構苦労しているところです。

また、単身で移住してきた場合、親戚、友達等でもない状況になるので、町内での交流の場があったら安心できると思います。

大崎町SDGs推進協議会の皆さんありがとうございました。

聞き手/広報広聴常任委員会

*大崎町SDGs推進協議会は、2021年4月に設立され、資源循環を中心としたこれまでのSDGsに関する取り組みを加速させるために放送局や金融機関など多様な企業と協働し活動を行っています。

私の想い

〔大崎の自然と暮らし〕
を短歌に込めて

大崎短歌会

代表 馬場 みさ子

「大崎短歌会」は、昭和四十九年に創設以来約半世紀の歩みを重ねています。月の定例会に郵送やメールで詠草を提出し、参加者で批評し合い研鑽し、広報おおさきや、結社誌、各種短歌大会などにも投稿し活動しています。

昨今、感染リスクは止まず行動制限や、不穏な世界情勢に物資の高騰も押し寄せ、ストレスフルな毎日です。心を豊かにする三十一文字の短歌は、紙とペン一本あればいつでも、誰でも思いのたけを表現できます。

さて、高齢化の進行は、我が町も歌友も他人事ではありません。広がる早苗田や畑地、恵まれた白砂青松の自然の中で、先人が築き上げたたくらしの智恵や積年の喜怒哀楽の詰まった人生経験を持つ方々から学べる縁を生かしたいと痛感しています。本会員もかつて四十人以上で、健詠も活発であったと聞きますが、高齢化や諸事由により会員数は徐々に減少しました。しかし、齢を経られた方々の含蓄ある言葉は味わい深いです。町制六十周年記念歌集より『宝満に千歳 萬歳 竜相と苗字めでたき大崎の町』

(原田葉子)

九州の左脚の中心に位置する大崎の大地は地道に開拓され、農畜水産業を発展させてき

た一方、後継者不足による廃屋や休耕田も増加の一途。「昔はできたのに、今やできない。何とかならぬか」という回顧やもどかしさ、期待の詠草も散見します。

永く本会を率いられた故大和てるみ氏は、一人で十歩進むより十人で一歩ずつ前進しようと呼び願われました。尊い教えを次世代の幸せな未来に繋げられるよう詠み続けたいです。



編集後記

コロナ発生から3回目の夏を迎えますが、どのような盆休みをお迎えでしょうか。

世界はロシアによるウクライナ侵攻が収まらない状況で、まさにルールのない世界になってきております。

物価も上昇し、生活に支障をきたす値上げが、のきなみに予想されます。夏になり、平均気温も5度くらい上昇しておりますが、定期的に農作業真つ最中だと思えます。

酷暑の折、自分自身で体に気を付けてお過ごしください。ここに議会報をお届けいたします。

(諸木 悦朗)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 平田 慎一
- 副委員長 上原 正一
- 委員 小野 光夫
- 委員 宮本 昭一
- 委員 諸木 悦朗
- 委員 富重 幸博

発行責任者

大崎町議会議長 神崎 文男